

令和元年度第3回研究推進委員会(放射線安全規制研究戦略的推進事業)

議事概要

1. 日 時 令和2年2月27日(木) 13:30～17:00

2. 場 所 原子力規制委員会 庁舎内

3. 出席者

原子力規制委員会 担当委員

伴 信彦 原子力規制委員会委員

外部有識者(五十音順)

石川 徹夫 公立大学法人福島県立医科大学医学部 教授

高橋 知之 国立大学法人京都大学複合原子力科学研究所 准教授

中村 吉秀 公益社団法人日本アイソトープ協会医薬品部
医薬品・試薬課 シニアアドバイザー

古田 定昭 株式会社ペスコ 中部事業所長

原子力規制庁職員

大熊 一寛 放射線防護企画課 課長

長坂 雄一 監視情報課 課長

宮本 久 安全規制管理官(放射線規制担当)

田中 桜 放射線防護企画課 企画官

大町 康 放射線防護企画課 課長補佐

小林 駿司 放射線防護企画課 係長

本間 俊充 放射線防護企画課 放射線防護技術調整官

中村 尚司 放射線規制部門 技術参与

外部有識者(オブザーバー)

二ツ川 章二 公益社団法人日本アイソトープ協会 常務理事

4. 議 事

(1) 令和2年度継続課題に係る審査

(2) 令和2年度新規課題の採択に係る審査[2次審査]

- ① 重点テーマ「原子力・放射線緊急事態における被ばく評価手法に関する研究」に係る応募課題の2次審査
- ② 重点テーマ「原子力災害に対する防護措置のリスク・ベネフィット評価」に係る応募課題の2次審査
- ③ 重点テーマ「国際動向を踏まえた放射線安全規制の技術的課題に関する検討」に係る応募課題の2次審査

(3) その他

5. 議事要旨

- 今回の会合では、提案者の研究に関わるアイデア及びノウハウに係る議論をするため、研究推進委員会に関する設置運営要領第8条に基づいて非公開の扱いとし、議事概要のみを公表することとした。また、出席した委員は、申請書を通して知り得たこと及び議論の経過について守秘義務が発生していることを確認した。
- 令和2年度に継続予定の課題のうち、令和元年2月6日の研究評価委員会においてC評価とされた課題1件について、以下の研究推進委員会のコメントを踏まえ修正された事業計画書及び支出計画書について審議を行った。その結果、大学・研究機関の放射線業務従事者情報の共有化と一元管理を担当している東北大学 渡部浩司教授に研究代表者を変更した上で、事業を継続することを決定した。

課題名：健全な放射線防護実現のためのアイソトープ総合センターをベースとした放射線教育と安全管理ネットワーク

研究代表者：大阪大学 篠原 厚

- ・ 研究計画を大学・研究期間の放射線業務従事者情報の共有化と一元管理に特化するものに修正し、これに応じ予算計画も見直すこと。
- ・ 予算計画は今年度実績額（見込み含む）の50%を上限とすること。

- 令和2年度新規課題の採択について、次のようにヒアリング審査を実施した。

(ヒアリング対象の内訳)

重点テーマ①：1件

重点テーマ②：1件

重点テーマ③：1件

- ヒアリングを実施した課題について審議した結果、3件を採択することを決定した。

- 今後、採択された課題を公表するとともに、それぞれの課題を担当するプログラム・オフィサー（PO）等の確認等の作業を事務局において実施することを確認した。